



FSC

www.fsc.org

100%

適切に管理された
森林資源を産出
しています

SC C103704



浜松市

みんなで創る、元気な未来。

notebook

浜松市

農林水産ノート

平成 29 年 5 月号

・ 農林水産情報発信WG(ワーキンググループ)
がほぼ毎月配信します

・ ホームページやフェイスブックなど発信した情報
を中心にまとめます

— 今号の目次 —

「にいがた花絵プロジェクト」に直虎記念花絵が登場しました

「浜松市未来を拓く農林漁業フォーラム」が行われました

「浜松中部学園」がFSC(R)プロジェクト認証を取得しました

てんかん患者に向けた食品開発「GABA UP」プロジェクトの食品が完成しました

浜松市立三ヶ日図書館でユニバーサル農業パネル展実施中

【浜松市農林水産トピックス】



「にいがた花絵プロジェクト」に直虎記念花絵が登場しました



浜松市と農業分野で連携する新潟市で開催されるイベント「にいがた花絵プロジェクト」で、浜松を舞台にした大河ドラマで全国的に話題の井伊直虎の記念風をデザインした花絵を制作しました。

にいがた花絵プロジェクトは、チューリップの球根育成のために摘み取り捨てられてしまう花を使って花絵を制作する取組で、チューリップの産地である新潟市で毎年行われており、今回で 25 回目の開催になります。

JR 新潟駅前に飾られた直虎の花絵は、縦・横ともに 1.8 メートルで、約 9,000 本のチューリップを使って、新潟市民ボランティアなどの手によって完成しました。直虎カラーの赤色のチューリップで制作した花絵は、新潟特産の錦鯉を描いた大型花絵と合わせて、ゴールデンウィーク中に訪れる多くの人の注目を集めていました。



また、今回の制作に合わせ、浜松市のマスコットキャラクター「出世大家康くん」「出世法師直虎ちゃん」も応援に駆け付け、浜松市を大いにPRしました。合わせて、丸浜柑橘農業協同組合連合会によるブルーベリーの販売も行われ、今が旬の浜松のブルーベリーを買い求めるお客様で賑わいました。

今回の直虎花絵やブルーベリーなどを通じて浜松の魅力を知っていただいた新潟市の方に、ぜひ浜松にも訪れていただきたいですね。



「浜松市未来を拓く農林漁業フォーラム」が行われました



浜松商工会議所にて、『浜松市未来を拓く農林漁業フォーラム 1×2×3=∞(無限大)』が行われました！

こちらのフォーラムは、農商工連携・6次産業化への理解をより深めていただくことを目的に、昨年度に続き開催されたものです。

当日は、県・市・商工会議所などによる補助制度の説明のほか、6次産業化の推進をテーマとした(有)良品工房・代表の白田典子さんからの基調講演が行われました。また、市内での取り組み事例として、交流施設としての天竜材セミナーームを開設した永田木材(株)の永田さん、災害時にも手軽に本格的なご飯が炊ける新たなレトルト米飯「らくらくごはん」を開発された(株)森島農園の高林さんによるパネルディスカッションが行われました。そのほか、会場では市内における6次産業化事例の一斉展示が行われ、様々な分野のユニークな商品が並びました。

浜松市未来を拓く農林漁業フォーラム

浜松市は、食と農林漁業の新たな産業創出の「活性化のまち」として、農林漁業(1次産業)と工業、製造業等(2次産業)、商業や観光業等(3次産業)を連携させた6次産業化やブランド化の取組に対する補助事業を行っています。本フォーラムでは、平成29年度の事業の一環として、この補助事業の具体的な事例、農産物産出、6次産業化に関する専門家の講演、前回の基調講演等による質疑応答を行います。

また、浜松市の未来は、県、市、商工会議所から届けられる農商工連携、6次産業化における取組についての取組も行います。

このフォーラムを通じて、情報や農商工連携、6次産業化に関する取組、推進を高めることができれば幸いです。農林漁業をはじめとする、多くの事業者の方の参加をお待ちしております。

1×2×3=∞ 無限大

浜松発の新たなマーケットを創造しよう!

補助事業を活用して成果を挙げています!!

コスモグリーンカフェ
今までの焼肉店を更に2倍のサービスで、東京銀座の「コスモ」から、浜松市に展開する。焼肉だけでなく、お弁当やお惣菜も提供し、農産物産出にも取り組んでいる。

永田木材
FSC認証の木材を軸とした「ウッド・ミュージアム」を開設。浜松市に初めて設置された「ウッドミュージアム」を開設し、木材の魅力を発信し、木材産出にも取り組んでいる。

森島農園
家庭菜園が人気。お弁当やお惣菜も提供し、農産物産出にも取り組んでいる。また、お弁当やお惣菜も提供し、農産物産出にも取り組んでいる。

平成29年 **4月27日(木)** 13:30~16:05

会場 浜松商工会議所10階B・C会議室 **入場無料**

定員 100名(先着順)

住所 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

浜松市 産業部 農林水産課 農産政策グループ 担当:佐藤 伊由

電話:053-457-2334 / FAX:053-457-2214

E-mail:nousui@city.hamamatsu.shizuoka.jp

主催:浜松市 / 共催:浜松商工会議所 浜松農商工連携研究会

フォーラムには、6次産業化に取り組もうという意欲的な事業者さんが多数参加され、補助制度への問い合わせや取り組み時の苦労に関する質問などが交わされるなど、今年度の事業実施に向けた良いヒントを得られる機会になったのではないかと思います。

豊かな浜松市の農林水産資源を活用した新たな取り組みが生まれることに期待したいですね。



「浜松中部学園」がFSC(R)プロジェクト認証を取得しました ～学校施設としては全国初の事例～

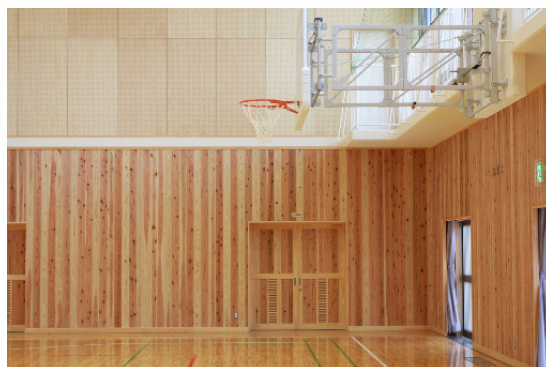


平成 29 年 4 月 8 日、浜松市中区松城町の小中一貫校「浜松中部学園」が開校しました。

市立元城小、北小、中部中が統合して誕生した同校は、校内施設を一新しただけでなく、学校施設では全国初となる「F S Cプロジェクト認証」を取得しました！

F S Cプロジェクト認証とは、森林管理協議会（F S C）の国際認証で、認証されると指定部分でロゴの使用が認められ、F S C物件として対外的に公表・P Rすることができます。ロンドンオリンピックのオリンピックパークでも本制度を活用し、認証材のP Rをしていたんですよ。

浜松中部学園ではF S C認証を受けた天竜材をおよそ52立方メートル使用しています。校舎では、南棟2階の教室と廊下の仕切り部分にスギの羽目板、ヒノキの集成材を使用し、体育館では1階のアリーナと2階格技場の腰板や構造材などにスギ・ヒノキ材、ヒノキの集成材を使用しています。



また、全教室には天竜材を使用した椅子や机を導入しています。木目の美しさや木製ならではのあたたかみを感じますね。市では2017年度末に完成予定の浜名中学校でも認証制度を目指しています。より多くの方がFSC認証材に触れ、天竜材という地元木材の良さを感じてほしいですね。

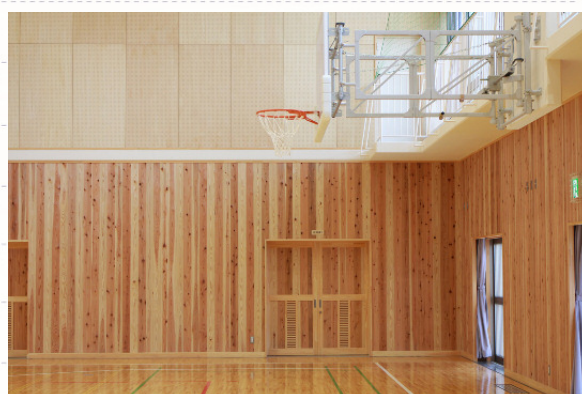


※FSCプロジェクト認証

FSC-COC 認証を取得していない事業者が、物件ごとにFSC認証を受ける制度で、認証されることにより、FSC物件として対外的に公表することが可能となる。

< 使用部分及び使用量 >

使用部分	使用木材	使用量 (m ³)
校舎の一部 (南棟2階の教室と廊下の仕切り)	スギ羽目板、ヒノキ集成材	2.8497 m ³
体育館の一部 (1階アリーナ及び2階格技場の腰羽目板、造作材、構造材、下地材等)	スギ・ヒノキ材、ヒノキ集成材	48.8415 m ³
合計		51.6912 m ³



てんかん患者に向けた食品開発「GABA UP」プロジェクトの食品が完成しました

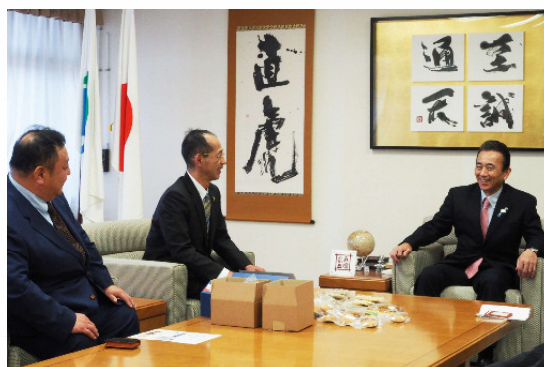


このたび、市内でてんかん患者に向けた食品開発を行う「GABA UP」プロジェクトの食品群が完成し、関係者のみなさんが市役所を訪れて浜松市長へ販売開始の報告をされました。

「GABA UP」プロジェクトとは、遠州食品加工工業協同組合（「遠食」）と聖隷浜松病院の医師が協力して行われている事業です。

遠食加盟企業の社員にてんかん患者さんがおられたことから、こうした患者さんが食の選択の幅を広げられるようにと地元の食材を活用しながら食品開発をされているもので、抑制性の神経伝達物質「 γ -アミノ酸 (gamma-aminobutyric acid)」の頭文字が名前の由来となっています。

患者さんだけでなく、食卓を囲む家族みんながおいしく食べられることをテーマに、市内で食に関わる事業を行っている遠食メンバーのみなさんが、様々な食品を開発されました。

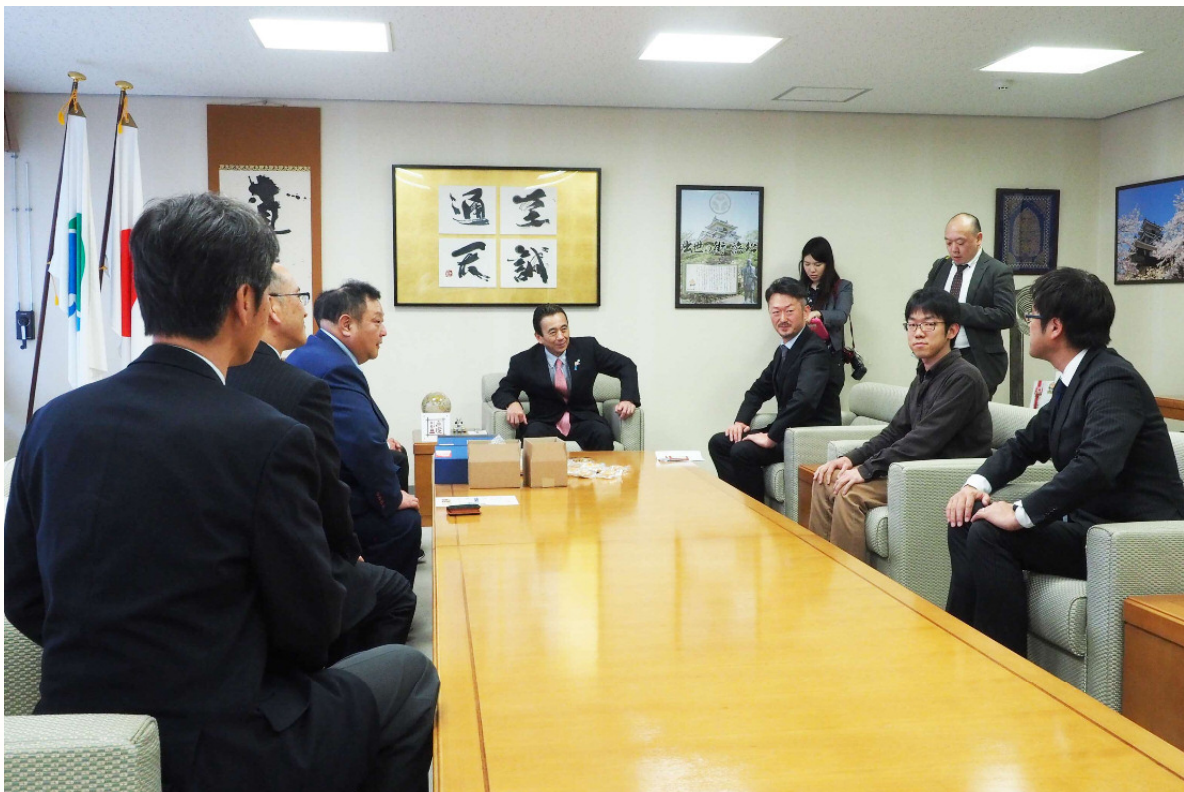


この日、浜名湖イカゲソ揚げやチーズ揚げ天、浜名湖のり塩焼きそばなどを試食した市長からは、「食べやすくてとてもおいしい。いろいろな食品があって楽しめそう。」と味に太鼓判を押しました。

その他、今回開発された9品の食品は、専用ブログで販売がスタートします。

こうした取り組みに、地元の食材が活用されることは嬉しいですね。

これからも医療との連携のもと食品の数を増やしていく予定とのことで、今後の活動にも注目が集まります。



浜松市立三ヶ日図書館で「“笑顔” つなぐはままつのユニバーサル農業パネル展」を実施中です



平成 29 年 5 月 12 日から 6 月 11 日までの約一か月間、『はままつユニバーサル農業パネル展』を浜松市立三ヶ日図書館で開催中です。

浜松市内で農福連携（農業と福祉の連携）に取り組む 9 名の方々を紹介したこちらのパネル展では、冊子『笑顔“つなぐ”はままつユニバーサル農業』からエッセンスを抜粋した大型パネルが並んでいます。

浜松市の農業を紹介する冊子もあわせて設置し、浜松市の農業や農福連携の現状について知っていただける催しとなっています。お近くの方は、期間中ぜひご来場ください。

期間：平成 29 年 5 月 12 日～平成 29 年 6 月 11 日

場所：浜松市立三ヶ日図書館

（浜松市北区三ヶ日町字志 799 番地の 1）



【浜松市農林水産トピックス】

浜松PCガーベラ 市長表敬訪問（4月17日）

浜松PCガーベラの市長表敬訪問が開催され、PCガーベラの紹介や活動報告、市長への花束贈呈を行いました。

PCガーベラは平成28年度、部会員14名で全国シェア約15%を占める売上高約5.1億円の販売実績を上げました。これまでも取り組んできた異業種とのコラボレーションを今年度さらにパワーアップさせていくことで、今後のますますの活躍に期待が集まります。



浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会平成29年度定期総会開催（4月27日）

浜松地域FSC・CLT利活用推進協議会の平成29年度定期総会を開催しました。

総会では議案全てが承認され、新会長に須山建設(株)代表取締役社長の須山宏造氏が就任しました。また、総会終了後には、木造建築分野の第一人者である（公社）日本建築士会連合会会長の三井所清典氏を講師に招き、「地域の資源・地域の力でこれからの木造建築にどう取り組む」と題する基調講演会を行いました。

本協議会の事務局を務める本市は、会員事業者の事業拡大に繋げ、天竜材の地産地消を一層推進するために、より実践的な事業を企画・実施してまいります。



献茶式・八十八夜の茶会（5月2日）

浜松茶農協主催による「献茶式」及び浜松市茶振興協議会主催による「八十八夜の茶会」が五社神社にて行われ、茶業関係者ら23名が出席しました。献茶式では収穫に感謝し、業界の発展を祈願しました。神事のあとの茶会では、新茶試飲会が行われ、浜松茶の「さえみどり」・手揉の浜松茶「山の息吹」、天竜茶の「やえほ」及び「やぶきた」を味わいました。

